

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月2日 (2010.4.2)

【公開番号】特開2009-44463(P2009-44463A)

【公開日】平成21年2月26日 (2009.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-008

【出願番号】特願2007-207281(P2007-207281)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/91 J

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月17日 (2010.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写界を捉える撮像面を有し、被写界像を生成する撮像手段、
前記撮像手段によって生成される被写界像内の特定位置を指定する指定手段、
前記撮像手段によって生成された被写界像を、前記指定手段によって指定された特定位置
の位置情報と共に記録する記録手段、
前記記録手段によって記録された被写界像を前記記録手段によって記録された位置情報を用いて再生を行う再生手段、および
前記撮像手段によって生成された被写界像に含まれる特徴画像を探索する探索手段を具備

し、
前記指定手段は前記探索手段によって検知された特徴画像の位置に基づいて特定位置を指定することを特徴とする電子カメラ。

【請求項 2】

前記特徴画像は顔画像であることを特徴とする請求項 1 記載の電子カメラ。

【請求項 3】

前記指定手段によって指定された特定位置の被写界像に基づいて前記撮像手段の撮影条件を調整する調整手段をさらに具備、前記記録手段は前記調整手段によって調整された撮像条件で作成された被写界像を記録することを特徴とする請求項 1 記載の電子カメラ。

【請求項 4】

前記撮影条件は前記撮像手段の焦点距離であることを特徴とする請求項 3 記載の電子カメラ。

【請求項 5】

前記再生手段は、前記記録手段によって記録された位置情報を用いて特定される位置を中

心に被写界像を拡大再生することを特徴とする請求項 1 記載の電子カメラ。

【請求項 6】

被写界像に含まれる特徴画像の位置を示す位置情報と当該被写界像と共に記録された記録媒体から前記被写界像を再生する被写界像再生装置であって、前記被写界像を前記位置情報を用いて再生を行う再生手段を具える、被写界像再生装置。

【請求項 7】

前記再生手段は、前記位置情報を用いて特定される位置を中心に被写界像を拡大再生することを特徴とする請求項 6 記載の被写界像再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

第 1 の発明は、被写界を捉える撮像面を有し、被写界像を生成する撮像手段、撮像手段によって生成される被写界像内の特定位置を指定する指定手段、撮像手段によって生成された被写界像を、指定手段によって指定された特定位置の位置情報と共に記録する記録手段、記録手段によって記録された被写界像を記録手段によって記録された位置情報を用いて再生を行う再生手段、および撮像手段によって生成された被写界像に含まれる特徴画像を探索する探索手段を具え、指定手段は探索手段によって検知された特徴画像の位置に基づいて特定位置を指定することを特徴とする電子カメラである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

さらに、特徴画像は顔画像であることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

第 2 の発明は、被写界像に含まれる特徴画像の位置を示す位置情報と当該被写界像と共に記録された記録媒体から被写界像を再生する被写界像再生装置であって、被写界像を前記位置情報を用いて再生を行う再生手段を具える、被写界像再生装置である。